【総括表】

用途	文化財収蔵庫

1　対象施設

本個別施設計画での対象施設は、次に示す施設とする。

	施設名	所在地	基本的な方針	摘要
1	旧図書館文化財倉庫	陣中町	現状維持	
2	保見文化財倉庫	東保見町	現状維持	
3	足助資料館大河原分館	大河原町	現状維持	
4	稲武文化財倉庫	稲武町	現状維持	

2　計画期間

2021 年度から 2026 年度までの 6 年間とする。

3　目標使用年数

原則、目標使用年数は 57 年以上とする。

4　対策の優先順位の考え方

対策の実施にあたっては、施設の劣化状況や点検・診断結果を踏まえ、財政負担の平準化等も考慮しながら、計画的に行うものとする

【個別表】

1	施設名	旧図書館文化財倉庫

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	陣中町	延床面積	1,557.73 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
旧図書館文化財倉庫	RC 造	1970	1,437.73	2 階	増築 286.23 ㎡
自転車置き場	RC 造	1970	120.00	1 階	地下

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
旧図書館文化財倉庫は、現在、１階を市史編さん室、２階を音楽練習場（文化振興課所管）として利用。建築後５０年を経過し、施設の老朽化（漏水等）が激しい。 ※Ｈ２４漏水修繕（屋上防水）

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善

	☑：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
	市史編さん事業が令和６年度に終了するため、文化財課所管から同施設を除外する予定。
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

2	施設名	保見文化財倉庫

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	東保見町	延床面積	1,024.11 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
管理棟	RC 造	1975	964.31	2 階	
車庫	S 造	1986	59.80	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
保見文化財倉庫は、用途廃止した下水処理施設を改修し、倉庫として使用している。現段階では管理上の支障はない。 ※令和元年度に屋根、外壁修繕（長寿命化事業）を実施済み

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善

	□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	
地下室(沈殿槽)は使用していない	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

3	施設名	足助資料館大河原分館

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	大河原町	延床面積	1,131.47 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
資料保管室	RC 造	1978	1,020.33	2 階	校舎
資料保管室	S 造	1978	78.74	1 階	給食室
倉庫	LWS 造	1978	32.40	1 階	

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
大河原分館は、廃校を利用し、文化財倉庫として改修した施設であり、建築後４０年以上が経過しており、外壁にひび割れ等による劣化が目立つ（漏水はなし）。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進
□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善

	□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。

【個別表】

4	施設名	稲武文化財倉庫

1　施設の概要　（2019 年 3 月 31 日時点）

所在地	稲武町	延床面積	1,729.77 ㎡

建築物棟別

棟別名称	構造	建築年度	延床面積（㎡）	階数	備考
文化財倉庫	RC 造	1964	1,106.02	3 階	H20 県から譲渡
文化財倉庫（増築分）	RC 造	1981	623.75	3 階	H20 県から譲渡

2　個別施設の状態等

施設の劣化・損傷の状況や要因、過去の対応状況等
稲武文化財倉庫は、廃校を利用して、平成２１年度に文化財倉庫として改修した施設であり、建築後５０年以上経過しているが比較的劣化は少ない。 倉庫として利用している以外の連絡通路等は、修繕もされずに塗装の剥がれが目立つ。 同一敷地内の体育館、武道場については、地域活用施設として稲武支所に所管替え済み。

3　対策内容と実施時期

（１）基本的な考え方
①安全・安心な施設管理、②トータルコストの縮減、③施設の有効活用の促進の３つを柱とした取組を総合的に推進し、将来の施設更新や維持管理に係るトータルコストの縮減・平準化を図る。
（２）取組方針
以下、取組として該当する項目にチェックを入れ、具体的な内容を明記する。
☑：１）点検の実施、施設の修繕・更新による安全性の確保
各種点検（日常点検、保守点検、法定点検等）の観察により施設の劣化状況や修繕の緊急度を把握する。
□：２）施設更新に伴う複合化・集約化、余剰空間の用途転用等による活用促進

	□：３）民間活力の導入による事業推進や運営改善
	□：４）施設の機能向上による利便性向上や、ランニングコストの縮減
（３）その他、対策を実施する際に考慮すべき事項	

４　対策内容（計画期間内の保全、機能向上、建替え・増築 等）

※「年次計画表一覧」を参照。